

- 問1 戊辰戦争の終盤に、五稜郭を拠点として新政府軍に最後まで抗戦した幕府側の軍隊を何という？
- 問2 明治初期、全権大使として欧米へ渡り、帰国後は国内の近代化を優先する政策を進めた人物は誰？
- 問3 明治初期、西洋の生活様式や文化が取り入れられ、急速に社会が近代化した風潮を何という？
- 問4 明治政府が日本で最初の近代的な学校制度を発布した年はいつ？
- 問5 地租改正の際、土地の所有者に発行され、所有権を証明するために使われた書類を何という？
- 問6 1867年に江戸幕府が朝廷へ政権を返上し、天皇中心の政治に戻ることを宣言した出来事を何という？
- 問7 明治政府が1868年に政治の基本方針として発表したものを何という？
- 問8 明治天皇が神に誓う形式で「五箇条の御誓文」を発表した年は何年？
- 問9 地租改正などの重い税負担に苦しむ農民が、明治政府に対して起こした抵抗運動を何という？
- 問10 「天は人の上に人を造らず」という一節で始まる、福沢諭吉が執筆した啓蒙書を何という？
- 問11 明治政府が近代化のために進めた、産業を興して生産力を高めようとする政策を何という？
- 問12 明治政府が国力を高め、軍事力を強化して列強に並ぼうとした国家方針を何という？
- 問13 幕末から明治時代にかけて、『学問のすゝめ』を著して欧米の近代思想を日本に紹介した啓蒙思想家は誰？
- 問14 藩を廃止して県を置き、中央から知事を派遣して全国を直接統治した改革が行われたのは何年？
- 問15 明治政府が士族に対して禁止した、身分を象徴する武器の所持を何という？
- 問16 戊辰戦争の最後の戦いとして、新政府軍と旧幕府軍が北海道で争った戦争を何という？
- 問17 明治政府が全国の藩主から土地と人民を天皇に返還させた政策を断行した年は何年？
- 問18 1871年からの身分制度の廃止により、かつての武士・農民・職人・商人の区別がなくなったことを何という？
- 問19 1871年、明治政府が近代制度を学ぶために欧米へ派遣した使節団を何という？
- 問20 明治政府が国民から兵士を確保するために発布した、満20歳以上の男子に兵役の義務を課した法令を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 旧幕府軍	榎本武揚や土方歳三らが率いる彼らは、最新の兵器を備え、西洋式の城郭である五稜郭に立てこもって激しく戦いました。しかし、物量に勝る新政府軍に包囲され、力尽きて降伏しました。
問2	答え 岩倉具視	1871年に岩倉具視を全権大使とする使節団が派遣されました。帰国後の岩倉は、海外渡航で痛感した日本の遅れを挽回するため、性急な対外拡大を控え、国内の近代化と富国強兵を優先する方針を確立しました。
問3	答え 文明開化	服装、髪型、食生活が変化し、レンガ造りの建物や新聞、郵便制度が登場しました。特に「学制」の施行や「太陽暦」の採用により、国民の生活や意識も近代的に変わっていきました。
問4	答え 1872	1872年、政府は全国的な学校制度である「学制」を発布しました。この制度により、身分に関わらずすべての子供が教育を受ける機会を得ることを目指しました。
問5	答え 地券	1873年の地租改正で、政府は土地所有者に地券を交付しました。これに基づき、地価の3%を現金で納税する仕組みとなりました。この制度は、税収を予測可能にする画期的なものでした。
問6	答え 王政復古の大号令	1867年12月9日、京都御所において「王政復古の大号令」が出されました。これにより、徳川将軍家の権限が完全に廃止され、天皇のもとに天皇・摂政・関白などを廃した新しい政府が置かれることが宣言されました。
問7	答え 五箇条の御誓文	1868年、明治政府が発表した「五箇条の御誓文」は、天皇が神々に誓う形式で示された政治の基本方針です。主な内容として、公論に基づく政治、知識を世界に求めること、旧来の悪習の廃止などが盛り込まれました。
問8	答え 1868年	1868年、明治天皇が神々に誓う形式で「五箇条の御誓文」が発表されました。ここには、身分を問わず広く会議を興すこと、知識を世界に求めることなど、新しい近代国家の目指すべき姿勢が示されています。
問9	答え 一揆	この重い負担に抗議して、全国各地で大規模な一揆が起りました。政府は、これら社会的な動揺を抑えるために、1877年に地租の税率を3%から2.5%に引き下げる措置をとりました。
問10	答え 学問のすゝめ	『学問のすゝめ』は、福沢諭吉が人々に平等と学問の重要性を説くために著した書物です。「天は人の上に人を造らず」という言葉で有名で、人間は生まれながらに平等であり、自らの知性を磨くことで独立した個人となるべきだと説きました。
問11	答え 殖産興業	政府は最新の機械や技術を輸入し、官営模範工場を建設するなどしてモデルとなる産業を育成しました。また、交通網としての鉄道や電信の整備も積極的に進め、民間企業の成長を後押ししました。
問12	答え 富国強兵	経済発展を目指す「殖産興業」と、強力な軍隊を育成する「富国強兵」をセットで推進しました。これにより、鉄道の整備、官営工場の設立、徴兵制の施行など、多角的な近代化策が実行されました。
問13	答え 福沢諭吉	福沢諭吉は幕府の使節団として欧米を視察し、そこで学んだ近代的な考え方を日本に広めました。代表作『学問のすゝめ』では、身分にとらわれず、実学を学ぶことの重要性を説いています。また、慶應義塾を創設し、数多くの人材を育成しました。
問14	答え 1871年	1871年、明治政府は断固とした姿勢で廃藩置県を断行しました。従来の藩をすべて廃止して県を設置し、中央から知事を派遣することで、国家が直接国民を統治するシステムを確立しました。この改革により、江戸時代から続いた大名による領主制が完全に終わりを迎えました。
問15	答え 帯刀	1876年の「廃刀令」により、公務中を除き士族が刀を腰に差すこと（帯刀）が禁止されました。これにより、武士の象徴が取り払われ、士族と平民の身分的な境界が形式的にも解消されました。
問16	答え 箱館戦争	新政府軍はこれを反乱とみなし、陸海軍を投入して討伐を行いました。函館周辺の各地で激戦が繰り広げられ、最終的に旧幕府軍が降伏することで戊辰戦争は幕を閉じました。
問17	答え 1869年	1869年、薩摩・長州・土佐・肥後の四藩主らが主導し、版籍奉還が行われました。これにより、藩主は藩知事に任命されましたが、領地と領民の支配権を天皇（政府）に返上することとなりました。
問18	答え 四民平等	「四民平等」は、かつて区別されていた士農工商の身分をなくし、すべての国民を法的に平等に扱う考え方です。これに伴い、平民の姓を持つことや、居住や職業の自由が認められるようになりました。
問19	答え 岩倉使節団	1871年、岩倉具視を全権大使とし、大久保利通や伊藤博文らが参加しました。一行はアメリカを経てヨーロッパ各国を回り、工場や議会、教育制度などを視察しました。日本が近代化するために必要な多くの知識を持ち帰りました。
問20	答え 徴兵令	1873年に出されたこの法令により、満20歳以上の男子は兵役の義務を負うこととなりました。これにより、武士だけが戦う時代は終わり、国民皆兵の体制が整えられました。